

国際学生会議（以下、－ISC）は、研修旅行と本会議に分かれています。研修旅行では、メンバーはそれぞれ京都・大阪・神戸・岡山・福岡のいずれかを外国人学生たちと訪れ、交流を深めます。その



後、いよいよ東京での本会議。ここでは日本人学生と外国人学生が、社会問題や国際的な問題について英語で議論します。

これは分科会と呼ばれ、会議最終日には、より多くの方に私たちが話し合ったことを知つてもうたぬく、議論の要約をサマリー発表

**話せなかつた  
悔しさをバネに**

今回私は、この－ISCの実行委員をしているのですが、その契機になつたのは昨年と一昨年に参加した研修旅行です。この旅行で、海外の学生と話したり、運営に関わつたりすることで充実感を得られた反面、思つようにコミュニケーションが取れなかつたことに悔しい思いをしました。その

## 今のはじめ 生かせる仕事に就きたい

文学部では哲学を専攻してい

## 世界中の学生と 仲良くなれる

国際学生会議（以下、－ISC）は、研修旅行と本会議に分かれています。

研修旅行では、メン

バーはそれぞれ京都・大阪・神戸・岡山・福岡のいずれかを外

国人学生たちと訪れ、交流を深めます。その

# 藤井 加奈

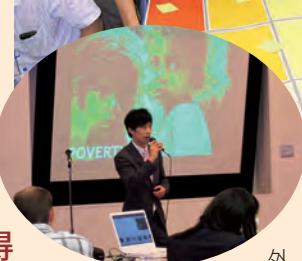
フジイ カナ

今回紹介するのは、文学部3回生の藤井加奈さん。今年8月26日から9月5日まで行われる第56回国際学生会議の実行委員として活躍されています。「さまざまな国の人と話すことが好き」と話す彼女に、大学会館でお話を伺いました。

# 藤井 加奈

という形で社会に発信しています。その他にも、東京を観光したり、クラブへ行つたり、パーティーをしたりと、さまざまな国から集まつた学生と約一週間寝食を共にすることで、交流を深めることができます。

## じつは英語は 得意ではないんです



時は本会議までは参加しなかつたのですが、今年は海外の学生と話をする機会をもつと増やそうと決意し、本会議に参加します。自分のためにも、そして外国の人と交流を深める機会があることを多く的人に伝えるためにも、実行委員として頑張っています。



じつは英語は  
得意ではないんです

海外の学生と話すことは本当に楽しいのですが、じつは私は英語は得意ではないのです。しかし、誰かと仲良くなるために重要なのは言葉ではありません。その場の雰囲気で仲良くなれちゃうものなのです。その「ツ」は「笑うこと」、そして「人の話に耳をかたむけ、思ったことははつきり言う」ということです。もともと人見知りな私ですが、こういった活動に関わるようになつてからは「人と積極的に話さなきゃ」と思つようになりました。